



みんないけ!

たいきょう

第6号



スポーツクラブ富山祭

平成19年2月10日

於 富山市総合体育館

子供やお年寄りのスポーツが注目されている

会長 森 雅 志

2000年国体が終わってから6年が経過しました。国体の総合優勝を目指し、選手強化に力を入れてきた競技スポーツ中心の時代を経て、今、スポーツは少子高齢社会の影響を強く受けています。

子どもたちの体力・運動能力は年々低下傾向にあり、また、介護を必要とする高齢者が年々増加することが予測されることから、スポーツ好きな子どもを育成する総合的な取り組みや、元気な中・高齢者の育成が重要になっています。

こうした中、富山市体育協会では「心と体の元気を高めること」を目指して開催している遊悠元気運動を推進させ、地区校下体育協会においても開催できるよう指導者育成事業への取り組みや、福祉分野の介護予防事業とも連携するなど高齢者のスポーツに力を入れると同時に、子どもたちへのスポーツ教室やウォーキングイベント等の開催により、参加機会の拡大に一

層努めていきたいと考えています。

一方、富山県では、2010年に全国スポーツレクリエーション祭が開催されることを契機に、現在の県民体育大会や県民スポレク祭等のスポーツ大会の見直しが進められており、新たに、チャンピオンスポーツ・地域対抗スポーツ・交流スポーツ・体験スポーツといった4つの枠組みでの開催が検討されています。さらに、より多くの方がスポーツに親しむことが出来るよう総合型スポーツクラブの育成も急ピッチで進んでいます。

元気な高齢者に指導者やリーダーとして、地域の子どもの指導やスポーツ大会のお世話をさせていただくことが、子どもの健全育成、さらには健康で明るい元気な地域社会の基盤づくりに繋がるものと思います。そのためには、まず体育協会が元気であることが重要です。元気な体育協会を目指して頑張りましょう!!

第5回 冬を楽しむ

ウォーキング・ウォーキングリーダー講習会

2月25日(土)体育文化センター(富山市友杉)を拠点として、ウォーキングリーダー講習会、並びに、第5回冬を楽しむウォーキングが開催されました。

富山市ファミリーパーク園長 山本茂行氏により講義(「富山の里山の動物について」)を受けた後、富山市体育文化センター周辺約7kmをウォーキングしました。

約100名の参加者は、冷たい北風のなか、冬から春への季節の移ろいを感じながら、約1時間30分の行程を楽しみました。



ジュニア競技種目指導者会議

スポーツ指導者大学 スポーツ医科学シンポジウム

★ジュニア種目指導者会議

『ジュニア期のスポーツ栄養について』

講師/富山短期大学教授 桑守 豊美 先生

ジュニア期のスポーツ栄養として、失った水分はトレーニング中に摂取する事や、トレーニング前・直後に間食を摂取する事、そして肉魚、果物、牛乳を増やすことが大切とし、特に小さい時から、きちんと食べることが将来の競技力、体力に大きく影響するなどが示されました。

『中学校の部活動の現状と課題について』

報告/富山市教育委員会 島田 芳一 教育次長

運動部活動と地域スポーツ活動との連携を視野においた地域スポーツ指導者体制の整備や、運動部活動を支えるスポーツエキスパート等の外部指導者の拡充など、今後、運動部活動の在り方を含めたスポーツ振興について総合的な研究・協議を進めることが必要であると示されました。

★スポーツ指導者大学

『最近の思春期外来の窓口から』

講師/谷野医院 谷野 芙美子 院長

・青少年期の精神障害は、家庭環境により強く影響するとし、その一例として、親の不仲が、感情をさせない子をつくる要因となり、その結果として社会で孤立する状態がうつを招くなど紹介。
・災害(天災やスポーツ事故など)により生じるストレス反応の症状をあげ、指導者は日頃の観察を欠かさず、その変化への気づきが精神障害の早期解消への第一歩であることが示されました。

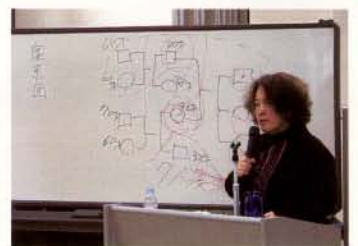
★スポーツ医科学シンポジウム

『少年期におけるスポーツ活動について』



同シンポジウムは、平成19年3月4日(日)富山市総合体育館において開催し、山田均高岡市民病院副院長に「少年期のスポーツ指導について」のご講演、山地延佳富山県総合体育センター企画情報係長に「少年期のストレッチングについて」の実技指導をいただきました。講演では、「スポーツ外傷(骨折、捻挫)などは、毎日の練習において個人のくせの積み重ねによって生じるものであるので指導者はフォームなどこまめにチェックしてやることにより予防につながる」又、実技指導では、「目的の筋肉をストレッチするためには、対象外の筋をゆるめるなど、正確な動きを伝える必要がある」など具体例を実演しながら説明されました。この後行われた、小野寺孝一富大教授の司会で行われたパネルディスカッションでは、日頃疑問に思っていることが討議され、問題解決の糸口が見つかったなどと大変好評でありました。

同シンポジウムは、平成19年3月4日(日)富山市総合体育館において開催し、山田均高岡市民病院副院長に「少年期のスポーツ指導について」のご講演、山地延佳富山県総合体育センター企画情報係長に「少年期のストレッチングについて」の実技指導をいただきました。講演では、「スポーツ外傷(骨折、捻挫)などは、毎日の練習において個人のくせの積み重ねによって生じるものであるので指導者はフォームなどこまめにチェックしてやることにより予防につながる」又、実技指導では、「目的の筋肉をストレッチするためには、対象外の筋をゆるめるなど、正確な動きを伝える必要がある」など具体例を実演しながら説明されました。この後行われた、小野寺孝一富大教授の司会で行われたパネルディスカッションでは、日頃疑問に思っていることが討議され、問題解決の糸口が見つかったなどと大変好評でありました。



新規加盟団体紹介 その①

富山市ボート協会



平成12年のとやま国体開催が決定したことを契機に、平成11年3月に細入村ボート協会が、平成15年12月に大沢野町ボート協会が相次いで発足し、各々の地域を中心としたボート競技の普及事業を展開してきました。

一方、平成17年4月に富山地域7市町村の合併により新富山市が誕生し、従来の特定地域を越えた市民活動が求められるようになったことから、ボート競技も地域に限定された競技ではなく、より広域な普及促進が必要になると考え、大沢野・細入両ボート協会を母体とした富山市ボート協会を設立いたしました。

今後は、より拓かれた競技となるよう、富山市全域を対象とした活動を展開し、多くの市民にボート競技を知ってもらいたいと考えております。



第11地区体育協会

★大沢野体育協会

当協会は昭和32年に設立され、平成19年に50周年を迎えます。町体協時代より、スポーツ教室やイベントの開催によって大沢野地域のスポーツ振興の一翼を担ってきました。特に大沢野駅伝競争大会は、40年以上、当地域最大のスポーツイベントとして、50チーム以上が健脚を競っています。また、2000年に行われたとやま国体では、ボート競技、ゴルフ競技、ソフトボール競技が当地域で行われ、全国から集まった選手のひたむきなプレーは私たちに感謝を与えてくれました。平成17年の合併で、それまでの町体協から地域体協へと生まれ変わりましたが、これからも大沢野地域のスポーツ振興を支え、住民の健康保持・増進に尽力していきたいと考えています。

★細入体育協会

当協会は昭和33年に富山県で第13回国民体育大会が開催された年に設立されました。設立以来、体育・スポーツの振興、健康で明るく活力ある地域作りに貢献してきました。少子高齢化が進み、体育・スポーツの果たす役割がさらに大きくなっている今日、当協会が果たす役割も今まで以上に重要になってきています。今後も健康で明るく充実した人生が送れるように、一層生涯スポーツの推進に努力していきたいと考えています。

第12地区体育協会

★大山地区体育協会

当協会は昭和33年、富山国体開催を機に誕生しました。以後、「町民1人1人スポーツ」を目指し、各種スポーツ大会を開催するなど、スポーツの普及、振興に努めてきました。現在、当協会にはスキー、ソフトボールなど13競技団体が加盟しており、日々の活動、大会運営などを行っています。今後は、平成17年に発足した「おおよま総合型スポーツクラブ」とも連携しながら、1人でも多くの方にスポーツの楽しさを知って頂きたいと考えています。

第13地区体育協会

★八尾地区体育協会

当協会は、旧八尾町時代の昭和33年4月1日に八尾町体育協会として創立され、平成20年度で創立50周年を迎えます。富山市合併後は、八尾地区体育協会として八尾地区のスポーツ振興のための総合的指導と活動をなし、地域住民の健康と体力の向上を図ることを目的に活動を進めています。主な活動として「八尾地域駅伝競走大会」「支部対抗ソフトボール大会」をはじめ、当体協加盟団体による競技大会や教室も開催しています。今後も八尾地区のスポーツ振興の中心組織として、各スポーツ団体と連携を図りながら事業を進めていきたいと考えています。

第14地区体育協会

★婦中町体育協会

当協会は昭和29年に発足し、半世紀を経た現在、校下体育団体7支部と14競技協会団体が加盟しています。昭和34年婦中町合併記念事業として始まった校下訪問駅伝競走大会や7校下対抗町民運動会などの支部対抗、現在の競技協会が創立されるまでの普及大会等の事業を開催してきました。何時でも何処でもそれぞれの価値観でスポーツを楽しむことを基本理念に「エンジョイ・スポーツ宣言」をし、永い歴史の中で培われた良き伝統を守りながら、時代にふさわしい取り組みに果敢に挑戦し、婦中スポーツクラブや体指と連携してスポーツ振興に寄与して参りたいと思います。

★山田体育協会

当協会は旧山田村時代の昭和35年に「村民ひとりスポーツ」を合い言葉に設立されました。以後、住民のスポーツ振興と向上を目指して活動をしてきました。合併後も山田体協として引き続き地区対抗戦で各種スポーツ大会を行うなど、スポーツを通して地域の親睦に寄与しています。今後も体指、やまだスポーツクラブと連携し地域のスポーツ振興を図って行きたいと思っています。



総合型スポーツクラブ情報



平成18年度総合型スポーツクラブが各地域において設立されました。

地区・校下団体名	スポーツクラブ団体名	設立年月日
堀川南校下	堀南スポーツクラブ	H18. 6. 9(金)
第4地区	呉羽地区総合型地域スポーツクラブ	H18.12. 3(日)
第5地区	五福公園スポーツクラブ「さくら」	H19. 2.18(日)
山室中部校下	「きらびか」☆スポーツクラブ	H19. 2.25(日)

総合型スポーツクラブは、身近な日常生活圏をエリアとして、公共スポーツ施設等を拠点としながら子供からお年寄り、初心者からトップレベルまで地域の誰もが年齢、興味、関心、技術、技能レベル等に応じて、いつでも手軽に活動できる場を提供します。

平成19年2月28日現在、県内には53のスポーツクラブが設立されており、その内16のスポーツクラブが富山市内で活動されています。

富山市体育協会では事務局内にサポートセンターを設立し、総合型地域スポーツクラブ設立の育成・支援に関わっており、今後は情報提供や研修会の開催等も推進してまいります。



スポーツクラブ富山情報

平成17年5月の設立から、当クラブもまもなく2年目が過ぎようとしています。現在会員数1,832名とわずかずつですが、確実に増え、その輪は広がっています。しかし、いまだクラブが何なのかよくわからず活動している方々も多く、皆さんのクラブであること、楽しいことがあるクラブであることをどうしたらお伝えできるのかと考え、クラブ祭をみんなの手で行うことを企画いたしました。短い期間での準備不足、1回目ということはどうなるのかまったく先の読めない中、2月10日幕が開きました。すると、予想もしなかった多くの参加者が会場を埋め、それが、協力ボランティアを奮い立たせ、そしてその姿に参加者は心地よいおもてなしを感じ、笑顔が一人から二人・三人へと、すごい勢いで伝染していきました。気がついてみると、あちこちに笑い声が響き、見たこともないような出会いの中で、スポーツを楽しむ、語り合い、微笑む姿がありました。会員の皆様の心が確かに動き始めていました。このクラブは、きつとどこにも負けない良いクラブになると確信した瞬間でした。惜しみない協力をしていただいた会員の皆様、会場に足を運んでくださった会員の皆様、また、影で支えてくださった多くの皆様に心から感謝の一日でした。本当にありがとうございました。そしてまた来年お目にかかりたいと思っています。



(財)富山市体育協会 主な事業計画(平成19年度)

月	日	曜日	内容	場所
4	29	祝(日)	神通川ウオーク(春)	神通川河川敷
5	26	土	新たなスポーツ大会開会式(県主催)	富山市総合体育館
	27	日	功労者表彰式・評議員会	富山第一ホテル
6	24	日	立山あおぐ特等席ウオーク(夏)	富山市総合体育館～呉羽丘陵
	30	土	第3回市民体育大会開会式	富山市総合体育館第1アリーナ
7	28～30	土～月	第60回県民体育大会	県内各所
8	18～20	土～月	第4回旧立山道ウオーク	富山市役所～雄山山頂
10	8	祝(月)	呉羽丘陵ウオーキング(秋)	呉羽運動広場
	21	日	第6回市民スポーツ・レクリエーション祭	富山市総合体育館他
2	23	土	冬を楽しむウオーキング(冬)	市体育文化センター周辺

(財)富山市体育協会事務局 TEL 432-1117